



【アジア勤務】建設設備の施工管理 | 海外法人の技術部門 | 空調・衛生・消火・電気設備等

募集職種

採用企業名

新日本空調株式会社

求人ID

1431417

部署名

国際事業本部 事業統括室

業種

設備関連

雇用形態

正社員

勤務地

東京都 23区, 中央区

最寄駅

都営浅草線、人形町駅

給与

450万円 ~ 1100万円

勤務時間

休憩：60分 時間外労働：有

更新日

2026年05月22日 07:00

応募必要条件

職務経験

1年以上

キャリアレベル

中途経験者レベル

英語レベル

日常会話レベル

日本語レベル

流暢

その他言語

中国語：北京語 - 日常会話レベル

最終学歴

専門学校卒

現在のビザ

日本での就労許可が必要です

募集要項

アピールポイント

- ・年間休日数：128日
- ・語学力を活かして海外駐在勤務
- ・想定年収：470万円 ~ 1,100万円

■職務内容

空調エンジニアリングの最前線を切り開いてきたリーディングカンパニーにおいて、次世代の海外事業を担う若手・中堅人材を募集します。

アジア域内を中心に各国で当社の強みを活かして事業展開を図っていますが、その中に入って新たなチャレンジをしてみませんか。

■業務内容：

施工管理者として、アジア域内の工事を担当していただきます。入社後まずは力量を確認しながら、担当する海外現場を選定し、品質管理・工程管理・予算管理・安全管理を行っていただきます。

又、施工前段階の設計や積算見積作業に従事して頂く可能性もあります。現地スタッフのいる職場で、異文化体験や遣り甲斐を感じながら業務を遂行し、将来的には海外拠点のマネジメント業務などのキャリアアップも目指せます。

■採用背景：

海外事業の安定・強化に向けて増員を行います。新たな地域/事業領域へ進出する可能性も秘めており、語学スキルを磨きながら裁量の大きな業務を経験いただき、キャリアアップを目指すポジションです。

コロナ禍や政情不安等の影響は受けつつも海外事業は引き続き堅調に推移し、中長期的視野に立った人員補強方針の下、今後の中核を担っていく方の採用となります。

■業務詳細：

- 施工管理（品質・工程・予算・安全の管理）
- 設計・積算見積業務
- 現地スタッフの指導・育成
 - ※入社後は日本法人（国際事業本部）で3ヵ月ほど実務研修を行った上で、海外拠点に配属となります。

スキル・資格**■必須条件：**

- 建築設備工事の施工管理に実務経験のある方
- 英語力（日常会話程度）又は、中国語（日常会話程度）が出来る方
- 海外志向を有し意欲的に働きたい方

■歓迎条件：

- 空調・衛生・消火・電気設備工事業のご経験をお持ちの方（即戦力）
- 建設設備関連資格（一級管工事施工管理技士、空気調和衛生工学会空調設備士/衛生設備士、一級電気工事施工管理技士等）を有する方
- 海外駐在経験のある方
- 発展途上国での勤務も厭わないタフネスやチャレンジ精神を有する方
- 自身の意見を持ち、能動的に行動できる方

勤務地： 本社/東京都中央区日本橋浜町2-31-1

- 最寄駅/浜町駅、人形町駅、水天宮前駅

勤務地2： 海外事業所

- 既存拠点:中国、シンガポール、ミャンマー、カンボジア、ベトナム、スリランカ、モルジブ

転勤： 有

- 日本での就労後、海外赴任となります
 - ※ご経験や社会情勢により変更となる可能性もございます。

休日休暇

- 年間休日数：128日
- 休日休暇携帯：完全週休2日制（土日祝）
 - ※現場では、4週8休に向けた取組みを行っていますが、4週6休になり残業となることもございます。
- 年間有給休暇：10日
 - （下限日数は、入社半年経過後の付与日数となります）
- 休暇制度：夏季休暇、年末年始休暇
 - 備考：祝祭日、創立記念日、特別休暇、等
 - ※海外赴任時は現地のカレンダーでの勤務となります。

【想定年収】 470万円～1,100万円

- 賃金形態：月給制
- 月給：260,000円～
 - 海外赴任となった場合は別途手当等がつきます。
- 雇用形態：正社員
- 期間の定め：無
- 試用期間：有り（期間：3ヶ月）
- 昇給の有無：有

選考方法： 書類選考⇒適性検査 + 1次面接～2次面接～役員面接⇒内定

会社説明

当社グループの企業理念は、会社のあるべき姿を見つめ直し、社員が主体となって制定したものです。【使命】「社会と自然の調和を育み、未来に向けた思いを満す」"Fill your tomorrow"は、エネルギー消費社会が抱える技術的課題の解決を図り、持続可能な地球環境の実現につなげていく姿勢を明確化したものです。環境保全をエンジニア集団としての最重要テーマに位置付け、その思いを込めた企業理念であります。

また、前身である東洋キヤリヤ工業時代（1930年～1969年）から継承し、これから先も守り続けていきたい要素があります。それが日本に初めて空気調和＝空調という概念を持ち込んだ先駆者としての「誇り」です。私たちは、パイオニア精神と技術者魂を大切にしながら、積極果敢なチャレンジを続けるDNAを過去から受け継ぎ、事業を拡大・発展させてきました。日本で空調分野を拓いてきた「誇り」を胸に、環境保全と社会貢献への高い意識をもって、これからも歩み続けていきます。そして「信頼関係」です。リニューアル事業は、竣工後も現場の保守対応を行うといった取組みを通じて、お客様の信頼を獲得してきました。その信頼が今日の事業拡大につながり、お客さまから「新日本空調に仕事を頼んでよかった、また次も頼みたい」と評価され、新築のみならず、保守・メンテナンスやリニューアルをご発注いただける継続的な関係を築いています。今後も、強みを生かした課題解決力をもって、持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進してまいります。

Shin Nippon Air Technologies Co., Ltd. (SNK) was incorporated in 1969 to take over the air conditioning construction business of Toyo Carrier Engineering Co., Ltd. – a company established in 1930 and affiliated to Carrier Corporation of United States. Since its establishment, SNK has been known as “Carrier’s Technology” because of the high technology and pioneering work passed down from Carrier to SNK.

Founded on air conditioning as its core business, SNK and its group companies (the SNK Group) boast its leading role in total engineering, by providing the ONE-STOP SOLUTION for general engineering services and facilities in general, including electrical, sanitary and plumbing, disaster prevention, automatic instrumentation and interior works of buildings. The SNK Group has been operated based on its key business principles: “To create a rich environment, respect personal trust and contribute to the society.”

In 2017, SNK introduced “SNK Value Innovation 2020”, the mid-term business plan of the company. Since then, it has achieved all of the targeted management indicators in the total amounts of orders received, completion of contracts and net incomes. Moreover, the strength of SNK, as a company, has been reinforced by providing environmental solutions and sound responses to customers' and society's needs. SNK is highly acclaimed for its energy-saving technologies represented by ZEB (net-zero energy building) Technology, which utilizes sustainable energy, and for its excellence in the Optimum System of Heat Source Equipment developed by it.

The year 2019 represents a key milestone for SNK. It marks the 50th anniversary of the company in October 2019 after it was spun off from its predecessor, Toyo Carrier Engineering and incorporated as Shin Nippon Air Technologies Co., Ltd. 2019 is also the final year of the “SNK Value Innovation 2020”. In 2020, SNK will celebrate the 90th anniversary of the establishment of its predecessor, Toyo Carrier Engineering. For all their stakeholders specifically, SNK and the SNK Group would like to express their heartiest appreciation and thanks for the supports that we have received over the years.

SNK views this year as an encouraging start of another 50-year period for the SNK Group, and aims at becoming a “100-year Company” that can keep growing strongly. We aspire to remain as a company trusted by the society and its customers throughout and beyond the 2020s. With these objectives in mind, SNK will push itself harder and further to continue being a business group contributing to customers, society and the global environment. SNK will target to maintain “its high values of morality and mission”, “technologies first” and “monodzukuri” (Japanese technology to develop works/products to higher grade while integrating newest and traditional techniques/engineering method) with top priority for safety and quality. For further enhancement of corporate value, SNK will also promote approaches to Work Style Reform for redressing of long working hours, digitalization, ESG (environment, social and governance) Management.